

MEIJIMURA

明治村だより
Vol.84 2016 Summer



CONTENTS

錦絵で見る明治時代…………… 2

夏の催しもの…………… 4

語り継ぐ建築…………… 5

A La Meiji-mura…………… 6

NEWS 明治村シンポジウム2016…………… 8



NEWS

【明治村シンポジウム2016】

「ミュージアムのある暮らし」

5月21日(土)に名古屋市中区にある ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋において明治村シンポジウム「ミュージアムのある暮らし」(中日新聞社主催、博物館明治村・名古屋鉄道共催)を開催しました。当日は1600名を超える応募者の中から、抽選に当選した約450名の方々が参加されました。

第一部は中川武館長による「博物館明治村の50年とこれから」をテーマにした講演。引き続き、第二部として阿川佐和子村長、日比野克彦岐阜県美術館館長、中川館長による「ミュージアムのある暮らし」をテーマにディスカッションが行われました。壇上では「明治村の存在意義」や「非日常を体感する場としての博物館や美術館の果たす役割」などについて活発な議論が展開され、スライドや豊富な事例を交えたお三方の話を会場の皆さんはすっかり惹き込まれていたようでした。



会場の様子



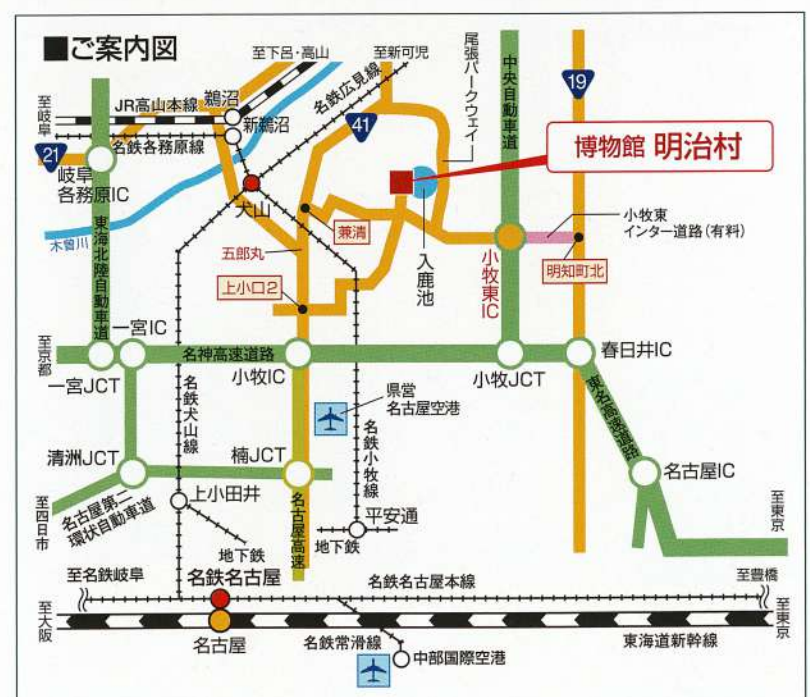
表紙錦絵
高貴演劇遊覧ノ図 楊洲周延画 明治20(1887)年

平成28年6月30日発行
「明治村だより」第84号(平成28年夏)

発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
電話 (0568) 67-0314
<http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第85号発行のお知らせ
発行時期 平成28年9月中旬(予定)
申込方法 「明治村だより」第85号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円切手とともに封書にてお申し込み下さい。



錦絵で見る 明治時代

1868年に明治と改元されてから、間もなく150年を迎えます。博物館明治村では昨年秋に開催した「錦絵にググッと迫ると文明開化がみえてくる」に引き続き錦絵をテーマとした「歌舞伎はモダン」を開催しています。ここでは歌舞伎や演劇を通して、江戸から明治へと時代が写っていく様子をご紹介します。



高貴演劇遊覧ノ図 明治20(1887)年 楊洲周延

この絵が描かれた明治二十(二八八七)年は、歌舞伎界・演劇界にとって、大きなターニングポイントとなった年です。

明治初年から二十年代にかけて試みられた演劇改良運動は、明治政府が民衆の教化手段として歌舞伎に目をつけ、開化政策に沿った演劇改良の指導に乗り出し、歌舞伎を西洋の演劇に引けを取らない高尚な演劇にすることを目指したものです。明治十一年(一八七八)年の新富座の開場に端を発し、明

洋装です。女性が洋服を着用するようになったのは、男性より遅れ明治十年代からですが、なかなか普及しなかったため、明治二十(二八八七)年に美子皇后より洋服着用を奨励する思召書が出されました。それにより、女性の洋服着用が急速に進んだと言われています。女性たちが着ているのは、当時流行していたバスルススタイルと呼ばれるお尻の部分が膨らんだドレスです①。

続いて、舞台に目を移してみましよう。間口七間(十二・六メートル)に短い花道が設けられただけの仮設舞台は普段と勝手が違い、演じる役者も苦労したようです⑤。舞台で演じられているのは「勸進帳」ですが、弁慶役の團十郎⑥は「六法(六方)」を踏むところ、「二法半」で揚幕に戻ってしまつたなどの話が伝わっています。この「勸進帳」は弁慶を九代目市川團十郎、富樫を初代市川左団次、義経を四代目中村福助が演じました。ここでは「勸進帳」のほか、「寺子屋」「忠臣蔵」「夜討曾我」「操三番叟」「花見踊」が九代目市川團十郎、五代目尾上菊五郎、初代市川左団次らによって上演されました。

九代目市川團十郎は明治期の歌舞伎界の第一人者で、史実を尊重



治十九(一八八六)年の演劇改良会の設立、そして明治二十年の史上初の天覧劇により、一つの成果をみたものです。

天覧劇は、東京麻布鳥居坂の井上馨邸の庭に設けられた仮設舞台で、明治二十年四月二十六日から四日間に行われて行われました。画面には天皇后両陛下が並んでご覧になっているように描かれています①。しかし実際は、明治天皇は二十六日、美子皇后は二十七日と、別日に来られています。実際は日によって招かれた観客は異なっていました。しかし、両陛下が一緒に観覧されている場面を描くことで、「天覧劇」の成功を伝えたと考えられます。

観客はこれまでの芝居小屋とは異なり、すべて椅子に腰掛けています②。また、天皇后両陛下が腰掛けられている席には机が用意されており、机には豪華な卓被と呼ばれる布が掛けられています③。この卓被は両陛下が出かけられる際には必ず持参されたもので、他の絵画にもしばしば描かれているものです。ここに集っている貴婦人は皆、

した演目は、一般客には地味に映つたようですが、上流階級や知識層には賞賛されました。外国人にも好評だったようで、実際に團十郎の演技を見て感動した西洋人が、楽屋へ来て団十郎の写真を求めたこともあったそうです。九代目團十郎が試みた歌舞伎への新しい取り組みは、歌舞伎の社会的地位の向上に大きく貢献しました。

この天覧劇は明治十九年に欧化政策の一環として組織された演劇改良会の企画制作によるもので、上演に際し、床の義太夫、太鼓、ツケ打、黒衣など伝統的なものを全廃するなど西洋風の改良理念が顕著に反映されたもので、そのため慣れない役者たちにとっては見得や出入のタイミングが測れず、苦労の連続であったようです。

しかし天皇后が観劇されたことにより歌舞伎をはじめとする演劇の社会的・文化的地位は向上したといわれています。

画面全体に、明治時代になって一般の人々が使えるようになった紫色や、海外から輸入されたアニリン紅を用いた赤色など⑦、明治時代初期の錦絵と比較すると、色調が大きく変化してきているのわかります。

宵の明治村

開催日/8月6日(土)・7日(日)、11日(木・祝)～16日(火)、20日(土)・21日(日)、27日(土)・28日(日)

荒天時に延長開村を中止する場合があります。

「彷徨の丘」登場!

ぼうれい
うす暗く、なんだかゾッとするホラーエリア。そして足を踏み入れると何かが起こる...!
会場/聖ヨハネ教会堂、西郷従道邸付近
時間/日没～



宵の明治村限定!

五味弘文プロデュース「かさね写真の幽霊」

日中とは違う雰囲気の中での体験はさらに恐怖を掻き立てる...。あなたは最後まで辿り着けるか...。詳しくは4ページ参照▶

身の毛もよだつ! 真夏の西郷邸建物ガイド

人気の西郷従道邸ガイドが「宵の明治村」限定でホラーバージョンに。100年以上前に建てられた洋館で、あなたは西郷隆盛に出会うかも!
受付/西郷従道邸
時間/①19:00～ ②19:30～ ③20:00～ (各回約20分)
定員/各回10名
料金/200円
※当日11時より学習院長官舎にて参加券を販売します



宵街映写

歴史的建造物の壁面で子どもから大人の方まで幅広く人気のアニメ作品を上映します。
会場/札幌電話交換局
時間/日没～20:30

宵の建物ガイド・スペシャル

昼間とは違った宵ならではの建物の表情をお楽しみいただけます。
会場/東松家住宅、高田小瓶写真館
時間/15:00～19:00

宵の古い体験館

会場/前橋監獄雑居房
時間/16:00～20:30
※先着順
料金/1人1回1,000円
占い師/東洋易学協議会ほか
※占い師、占いの種類は日によって異なります。



Dreaming JAZZナイト

野外特設ステージでのジャズコンサート。おしゃれなムードのなか、大人から子どもまで楽しめるメロディーをお届けします。
会場/帝国ホテル中央玄関前 芝生広場特設ステージ
時間/①19:00～ ②20:00～ ※雨天中止

花火競演

ライトアップされた歴史的建造物と、間近で見られる鮮やかな花火の大競演。
会場/帝国ホテル中央玄関前芝生広場一帯
時間/20:30～
※雨天中止



“最恐”怪談師決定戦〈怪談王〉

“最恐”の怪談師は誰だ?この夏、4人の怪談師が明治村に集結。トーナメントバトル形式で、持ちネタの怖さを競う! かつてない怪談会!!
開催日/8月7日(日)
時間/①13:00～ ②17:00～ (各回約2時間)
会場/呉服座
観覧券/全席指定 2,000円 販売/ローソンチケットで販売
販売開始/7月7日(木) 席数/各回250席
出演者/田中俊行、志月かなで、北極シロ、ひとみちゃん
主催/中日新聞社 東海ラジオ放送
共催/博物館 明治村 協力/名古屋鉄道(株)

“涼”を体感! 噴水ライトアップ

水柱を色とりどりに照らします。水と光による二重の癒し!!
会場/食堂楽のカフェ横芝生広場
時間/日没～

マジックショー

笑いあり、感動ありのマジックショー! ドキドキの30分をお楽しみください。
会場/呉服座 ※8/7(日)は休演
時間/①17:30～ ②19:30～ (各回約30分)
料金/1人300円
出演/DAIKIIほか ※出演者は日によって異なります。

明治お祭り広場

お祭りと言えば、やっぱり縁日! 景品をゲットして、みんなで盛り上がりよう!
会場/呉服座付近
時間/16:00～20:30
料金/1回200円～

麗澤瑞浪中学・高等学校 太鼓部公演

開催日/8月27日(土)
①食堂楽カフェ横芝生広場 17:00～
②第四高等学校武術道場「無声堂」 8:30～
※雨天時は2回とも第四高等学校武術道場「無声堂」

涼感グリーティング「雨に唄えば」

愉快なクラウンが登場! 傘の先から雨が降る? 不思議なパフォーマンスはとても驚き!
開催日/8月6日(土)、7日(日)、11日(木・祝)～16日(火) 20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
※雨天時は内容を変更して第四高等学校武術道場「無声堂」で開催
時間/①13:00～ ②15:00～ ③17:00～
出演/プレジャーB

幻影開化～ハイカラビジョン～

インタラクティブ・アートでもうひとつの明治村を体験! 参加することで変化する「体感するアート」の世界をお楽しみください!
開催日/8月1日(月)～28日(日)
協力/名古屋造形大学

「涼」を呼ぶアイテム販売中!

村内各売店では夏の涼しげな商品を続々と入荷中。夏を楽しめる商品がたくさん!
販売/村内売店



「涼」を体感!

会場/食堂楽のカフェ横芝生広場

噴水スポット新登場!

全長30mの噴水広場! スノコマットで裸足でも安心して遊べます。絶えず変わる水の形に、ひと時の「涼」を感じよう。



水鉄砲であそぼ

竹や廃材で作った水鉄砲をご用意。的当てや水鉄砲合戦、距離の競い合いなど、遊び方はあなた次第!
※貸出する水鉄砲の数には限りがあります。
期間/7月23日(土)～8月31日(水)

巨大水鉄砲に挑戦!

廃材で作った全長1mの巨大な水鉄砲を体験!! 何mとばせるかな! 開催日/8月6日(土)・7日(日)11日(木・祝)～16日(火)、20日(土)・21日(日) 27日(土)・28日(日)
時間/13:00～15:00



水鉄砲選手権

水鉄砲で点数を競おう! 優勝者には商品をプレゼント! 大人も子どももみんな集まれ!
開催日/8月の土曜日 時間/14:00

集まれ! 明治のあそびコーナー

大人気! 明治のあそびコーナーに夏限定で「ペットボトル水鉄砲」が仲間入り!
開催日/7月9日(土)～9月17日(土)の土曜日 時間/13:00～18:00

明治の消防体験

消防ポンプ「龍土水」を体験!
開催日/8月6日(土)・7日(日) 11日(木・祝)～16日(火) 20日(土)・21日(日) 27日(土)・28日(日)
時間/13:00～15:00



村の夏「喜」水フェア

7月9日(土)～8月28日(日)



文明開化のかき氷 700円 (和食処 碧水亭)
※「宵の明治村」開催日は14:00でオーダー終了となります。



フルーツ白くま 2016 850円 (デンキブラン 汐留バー)



“きざみいちご”のかき氷 680円 (明治の洋食屋 オムライス& グリル浪漫亭)



特撰抹茶氷一極一 850円 (京甘味処 なか井茶寮)



ミルクフロート 各650円 (コーヒー・ココア・青りんご) (帝国ホテル喫茶室)

《観光フェア》

- 松山市 8月20日(土)、21日(日)
- 瀬戸市 8月27日(土)、28日(日)

お問い合わせ先 <http://www.meijimura.com> または 0568-67-0314 ●イベントは断りなく中止する場合があります。

A La Meiji-mura

◆ 背もたれ



写真3



写真2



写真1

どの椅子も背もたれは現在主流の背中を大きく包む四角形ではなく、円形です。明治村に來られた理髪店を営むお客様からは「円形にすることで背もたれは客の身幅よりも狭いため、散髪や髭剃りがしやすい。現在はこのような小さな椅子がない。こちらの方がやり易そうなので、同じものを作ってほしいくらいだ。」という感想をお聞きしました。背もたれにはクッション材が入り、客の座り心地を考えながらも作業効率を重視したと思われる。

【理容椅子】

現在、建物内部には三点の椅子が展示されています(写真1-3)。この度修理を行い、実際に座っていたようにいたしました。明治時代の床屋で使われていた椅子は、リクライニングが出来るなど現在と同じような部分と、また逆に現在とは異なっている部分があります。ここでは各部を比較しながら理容椅子ならではの工夫の一部をご紹介します。明治村にお越しの際には、ぜひ展示されている椅子に触れながらじっくりとご覧下さい。新たな発見があるかもしれません。

◆ リクライニング



写真3-2

椅子の右側面にはハンドルがついています。これは背もたれを倒すためのハンドルです。反時計回りに回すとネジがゆるみ、背もたれを倒すことができます。写真1と写真3の椅子は背もたれと肘掛、足置きが連結されており、背もたれを倒すと肘掛が背もたれ側に平行移動し、背もたれの角度に合わせて足置きの位置が上がります(写真3-2)。快適な座り心地を皆様もぜひ体験してみてください。

◆ 枕



写真2-2

客が頭を乗せられるよう、背もたれの上には枕がついています。この枕は高さが調整でき、最大で約15センチ高くできます。写真1-2を見ると高さを調整する金具は簡易なものです。写真2-2を見ると金具にバネがつけられ、簡単な振動では動かないように工夫されています。



写真1-2

◆ 銘板

どの椅子にも製造元を示す銘板が取り付けられています。写真1-3には上から「高田式/製造/運転椅子大鏡理髪道具/長岡市東坂/上一丁目」と書かれており、新潟県長岡市で製造されたものであることがわかります。

写真2-3では鷲のトレードマークを中心に、その上半分に「KINWASHI BRAND/金鷲印」、下半分に「理髪椅子鏡製造/萬屋本店/東京浅草蔵前通/電話浅草三三四」と書かれています。また、写真3-3を見ると右上から左下にかけて帯が引かれ、その上部に英語、下部に日本語で「東京市浅草区蔵前森田町二十番地石田商店」とあり、萬屋本店と石田商店はともに東京・浅草にあったことがわかります。浅草は芝(現在の港区)に次ぐ家具の製造所が多い地域で、中でも理容椅子の製造所はこの地域に集中していました。帯には「実用新案特許第二七二〇六号/石田式運転椅子製造元」と書かれており、この特許は、大正2(1913)年に登録された実用新案第27206号の「石田式回転椅子」のことで、登録名称に一字違いがありますが、特許を持っている製造所の椅子であるということをアピールしています。



写真2-3



写真1-3



写真3-3



写真A 本郷喜之床内部

明治時代中頃には、輸入ガラスを国内で加工した鏡が製造販売されるようになり、国産の板ガラス鏡は板ガラス製造において技術的な困難を極め、明治三十三(一九〇〇)年に初めて二尺(約六〇センチ)角の板ガラスの製造に成功しました。そしてついに明治四十年代には国産の板ガラス

ラを使った鏡が製造されるようになりました。本郷喜之床に展示されている鏡には木製の枠がはめられており、枠の部分をよく見ると三枚それぞれ異なる装飾が施されています。木製枠(写真B)の外側(①)と内側(③)の部分は木製に見えますが、細部をよく見ると装飾の剥がれから金属で作った装飾を木部に接着させていることがわかります(写真C)。その多くが洋風な草花を模した文様(写真D)です。これらに対し、枠の中心部(②)は漆塗りで、形は少しずつ異なりますが、どれも菊の花と唐草が描かれています。菊は奈良時代に日本に伝来してから、長寿の象徴として扱われ、さらに中心から放射状に広がった花びらの形が、太陽光線と重ね合わされ、古くから愛用されてきた文様です。鏡の枠の装飾を見ると、西洋風の文様と日本古来の文様が並べられており、和洋の文化が重なる日本近代ならではの様子も知ることができそうです。



写真D 枠の金属装飾



写真C 木部と金属の接着部分

明治時代の 床屋さん道具

●本郷喜之床(4丁目47番地)



「本郷喜之床」は明治時代末期、東京の本郷(現在の文京区)に建てられた理髪店です。これまで内部にはお入りいただけませんでした。この春から「明治時代の床屋さん」を体感できるスポットとしてリニューアルいたしました。ここでは、内部公開によって、より接近してご覧いただけるようになった二つの資料をご紹介します。



写真B 木製枠拡大

の膜を貼った「板ガラス鏡」です。そのため、鏡の製造には板ガラスの製造が深く関わっています。

国内でガラスを使用した鏡が製造されるようになったのは一七四〇年代から一八〇〇年ころにかけてだと考えられています。この頃のガラスを使った鏡は「髯鏡」と呼ばれ、当時のガラス加工の技術では大きなもので二〇センチ角、多くは五〜六センチ角の小さなものしか製造できませんでした。そのため、大きな鏡を必要とする鏡台には金属製の鏡(唐鏡)が使用されていました。

ラを使った鏡が製造されるようになりました。

本郷喜之床に展示されている鏡には木製の枠がはめられており、枠の部分をよく見ると三枚それぞれ異なる装飾が施されています。木製枠(写真B)の外側(①)と内側(③)の部分は木製に見えますが、細部をよく見ると装飾の剥がれから金属で作った装飾を木部に接着させていることがわかります(写真C)。その多くが洋風な草花を模した文様(写真D)です。これらに対し、枠の中心部(②)は漆塗りで、形は少しずつ異なりますが、どれも菊の花と唐草が描かれています。菊は奈良時代に日本に伝来してから、長寿の象徴として扱われ、さらに中心から放射状に広がった花びらの形が、太陽光線と重ね合わされ、古くから愛用されてきた文様です。鏡の枠の装飾を見ると、西洋風の文様と日本古来の文様が並べられており、和洋の文化が重なる日本近代ならではの様子も知ることができそうです。